

## シリーズ「パートナーシップによるまちづくり」⑥

### 「学生がつくりあげた市民シンポジウム」

12月5日（日）、杜のホールはしもとで「市制50周年記念市民シンポジウム LOVE YOUR TOWN」が開催されました。

この催しは、大学生と市職員ボランティアからなる実行委員会が1年前から準備を進めていたもので、当日は、約300人の市民や学生が参加しました。

第1部では、市内の大学生・大学院生が、日頃の研究成果を生かしながら、本市のまちづくりに対する6つの提案を発表しました。提言を聞いた参加者の投票では、麻布大学・石井美帆さんの提案による「馬と触れ合える環境作り」が最も多くの票を得ました。



第2部では、市内を舞台に男女2人が繰り広げるドラマ「LOVE YOUR TOWN」の映像をもとに、市内の公園や子育てなどのテーマについて、学生の本音や会場の意見を聞きながら「相模原」の新しい魅力を語り合う「次世代トークセッション」が行われました。

政策提言では、多くの提言者が地域コミュニティの大切さや人間性の回復などを課題として取り上げており、大学生の地域社会に対する意識の高さがうかがわれました。また、提言内容も自分たちの研究や活動に根ざした率直なもので、若者らしい発表となりました。提言された内容については、今後、関係部署と提言者との議論を進めて、市の施策への反映を検討していく予定です。

このように大学生が大きな力を発揮してくれた市民シンポジウムですが、市内には8つの大学があり、約3万人の学生が学んでいます。これからも市と大学との連携を深めながら、大学生の感性や専門知識を活用し、学生の活力を生かしたまちづくりを進めていきます。